

令和3年度 さいたま市立三室中学校 自己評価書

校長 津田 顕吾 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 「新しいたま市の授業づくり」の「よい授業」の4つの因子を意識した授業づくりを基にし、本校独自の「三室中の授業づくり」を策定することにより、指導方法の工夫改善を進め、主体的で対話的で深い学びの実現を目指す。
- (2) 暴力行為やいじめの撲滅・不登校生徒の解消を目指し、教職員が生徒一人ひとりに寄り添った、組織的で積極的な生徒指導、教育相談を展開する。
- (3) 生徒が自らの環境を自らよりよくしていく取組を進めるとともに、地域の方・保護者に学校の様子や情報を提供し、活気のある学校づくりに御協力をいただく。
- (4) 教職員がゆとりをもち、生徒一人ひとりを大切に、生徒と向き合うことのできる職場環境の充実を図る。

2 評価結果について

- 学習面：学校評価では「一人ひとりの生徒の能力やがんばりを生かす授業を行っている」について、保護者からの肯定的な回答が昨年度から18.8%増加し81.9%となった。また、「授業の中で分かった』『できた』という満足感を味わっていますか」について、生徒からの肯定的な回答は、昨年度から2.4%増加し86%となった。数値は向上しているものの、各種調査等において無回答（無解答）の場面が目立つことから、自信をもって自分の考えを述べることのできる生徒の育成に努めたいと考えている。
- 生徒指導・教育相談面：学校評価では、「いじめや問題行動などについて、実態を見逃すことなく、適切に指導している」について、保護者からの肯定的な回答は、昨年度から15.9%増加し88.5%になった。また、「生徒や保護者からの相談に対して誠実に対応している」についても、昨年度から9.4%増加し91.1%となった。また、「生徒の悩みごとなどについて、しっかり聞いてくれていますか」について、生徒からの肯定的な回答は、昨年度から1.9%上がり94%であった。
- 地域や保護者への情報提供面：学校評価では、「教育活動を保護者や地域に積極的に公開している」「家庭や地域への連絡を分かりやすく行っている」について、保護者からの肯定的な回答は、昨年度から平均12%上がり85%となった。引き続き、学校ホームページや学校安心メールの活用を進めたい。
- 職場環境面：生徒に寄り添える学校にするために、現状に合わせた校務の整理を適切に進め、ゆとりある職場環境を整える必要がある。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- 学力向上に向けて、全国及び市の学習状況調査等を用いて現状を分析し、指導方法の工夫・改善を行う必要がある。また、今年度配付された一人1台のタブレットを活用し、生徒一人ひとりの学習意欲を高める授業づくりを加速する必要がある。さらに、学校だけではなく、タブレットを家庭に持ち帰る環境を整え、家庭学習の充実を図る取組を進めたい。
- いじめや不登校の課題解決に向けて、教職員と生徒との豊かな人間関係に支えられた積極的な生徒指導を展開するとともに、生徒一人ひとりについて情報共有し、組織的に対応する体制をさらに強化したい。
- 校務の整理をより一層行い、教職員がゆとりをもって生徒一人ひとりに寄り添って対応できるように努めていく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。